

第 24 回アメリカ史研究者夏期セミナー

シカゴ・フリーダム・ムーヴメント：
非暴力直接行動の限界と転換期の「公民権運動」

於： 愛知厚生年金会館
1999 年 8 月 29 日
報告者：藤永康政

0. 1960年代、シカゴの「公民権運動」に登場してくる団体

Coordinating Council of Community Organization (CCCO)

American Friends Service Committee

Chicago Congress of Racial Equality (CORE)

Chicago Urban League (CUL)

Chicago Chapter of NAACP

Catholic Interracial Council

The Episcopal Society for Cultural and Racial Unity

The Presbyterian Interracial Council

West Side Organization

Woodlawn Organization

The Southern Christian Leadership Conference

→Chicago Freedom Movement (CFM)

1. シカゴ・フリーダム・ムーブメントが直面した史的・社会的文脈

【シカゴにおける黒人運動の状況】

南部公民権運動の支援運動

ベンジャミン・ウィリス教育委員会委員長罷免要求

1963年6月、イリノイ州学校規約にアームストロング修正条項
付加

1964年公民権法第6項適用要求

【「公民権運動」の状況】

1965年セルマ運動の成功と投票権法の制定

ロサンゼルス、ワッツ地区の「人種」暴動

ジェイムス・メレディス行進と「ブラック・パワー」宣言

【都市をとりまく社会経済的状況】

郊外化の進展

産業のリストラクチャリングの開始の兆候

所得格差

高い失業率

2. 運動の進展

【キング周辺の反応】

「公民権連合」崩壊への危惧

「デイレール・マシーン」の反論

【SCLC 側の計画】

Crystallization and Simplification

Phase 1: 教育的で組織化を促すツールとしてデモを実施（2月）

Phase 2: 「搾取の主因と我々を取り巻く悪を明らかにし、スラムを作り出しているのは何か、そしてスラムに住むことを強いられている人々に破壊的影響を与えているのは何かを、世界中にはっきりと示すためにデモを行う。」（3月）

Phase 3: ^{massive}大規模アクションの実施（5月）

【実際の運動の展開】

2月23日、ウェストサイドのスラムのアパートを *trusteeship* の下に管理することを宣言

——「メレディス行進」と「ブラック・パワー」宣言——

7月10日、ソルジャーズ・フィールド集会と10項目の要求提出

【郊外の白人住宅地への抗議行進】

- ・7月14日、ゲイジ・パークへのデモ行進開始
- ・8月5日、マーケット・パークでのデモ行進。暴徒は4,000人に上り、暴徒によって投げられた石がキングの頭部を直撃する事件がおきる。41名が逮捕、30名が負傷。

→社会的に構築される白人性

- ・8月7日、CFMのベルモント地区でのデモに対し、護衛の警官が500名動員される
- ・8月9日、シカゴ人種関係委員会のエド・マーシニアックが、事前の会談を行わずに直接行動に訴えたCFMを批判する
- ・8月10日、CFMのデモに対して世論の反発が強まる。『シカゴ・デイレール・ニュース』が論説でCFMのデモの中止を訴え、アメリカ・カトリック教会の長、コーディ司教デモの中止を訴える。CBS系列のネットワークは、デモは人種統合に向けて逆効果であると考えている市民が80%に上るという報道を行う。

- ・ 8月12日、Chicago Commission on Religion and Race (CCRR)が、市当局、不動産業者、CFM 代表からなる「サミット会議」の仲介に立つ意志があることを表明
- ・ 8月14日、CFM 最大のデモ行進。ノースウェストサイドではジェイムス・ベヴェル、サウスウェストサイドではアル・ラビーとジェシー・ジャクソンがデモを行う。
- ・ 8月17日、「サミット会議」開催。

【最終的合意事項】

- ・ 住宅販売・賃貸における人種差別の禁止
- ・ 郊外の人種統合をモニタリングする機関、Leadership Council for Metropolitan Open Communities (LCMOC)設置

←CORE、Friends of SNCC は合意に反対し、9月4日、シセロへのデモ行進を敢行する。

3. むすび

- ・ LCMOC のその後
- ・ CFM の依拠した大前提の問題
- ・ モダンとポストモダンの狭間で

【史料】

【0.1】 マーティン・ルーサー・キング(1966年初頭)

1964年公民権法と投票権法があるので、公民権闘争は終わったのだと考える人がいることを知り、私は愕然としている。何度も何度も人びとはこう尋ねるのだ。あなたは他に何が欲しいのですかと。彼ら・彼女らはすべてがうまくいっていると感じている。よし、ならば、彼ら・彼女らと一緒に大都市を見て回ろうではないか。

eds. Henry Hampton and Steve Fayer, *Voices of Freedom: An Oral History of the Civil Rights Movement from the 1950s through the 1980s* (New York: Bantam, 1990), p.298.

【0.2】 ティムエル・ブラック(CUL)

シカゴのニグロ市民は、誰もそうなるべきではない方法で、屈辱を感じさせられている。彼がすぐに注目と関心を集めることができるただ一つの方法とは、社会の通常な生活の流れを妨害することである。これをニグロ市民は今やり始めたのであり、「パイ」の正当な分け前が与えられるまでそれを続けるであろう。

Timuel D. Black, "Jobs — The Crisis of Chicago," July, 1963 in Chicago Urban League Papers, Special Collection Division, Richard J. Daley Library, University of Illinois at Chicago (hereafter cited as CULP), Box 179, File 8.

【1.1】 シカゴの公立学校の人種別構成

Absolutely segregated-Negro	44	9%
Segregated Negro	105	22%
Integrated	19	4%
Absolutely segregated-white	52	11%
Segregated White	150	32%

Note:

"absolutely segregated" は生徒の90.0%から99.9%が1つの人種集団によって構成されている場合を指す

【1.2】イリノイ学校規約アームストロング改正条項

教育委員会は、可及的速やかに、人種隔離や国籍、人種、肌の色による公立学校の分離を防止し一掃することを考慮し、今後、既存の学校区を変更し、新しい学校区を作らねばならない。学校区の変更、改正に関するすべての記録は公衆に公表されなければならない。

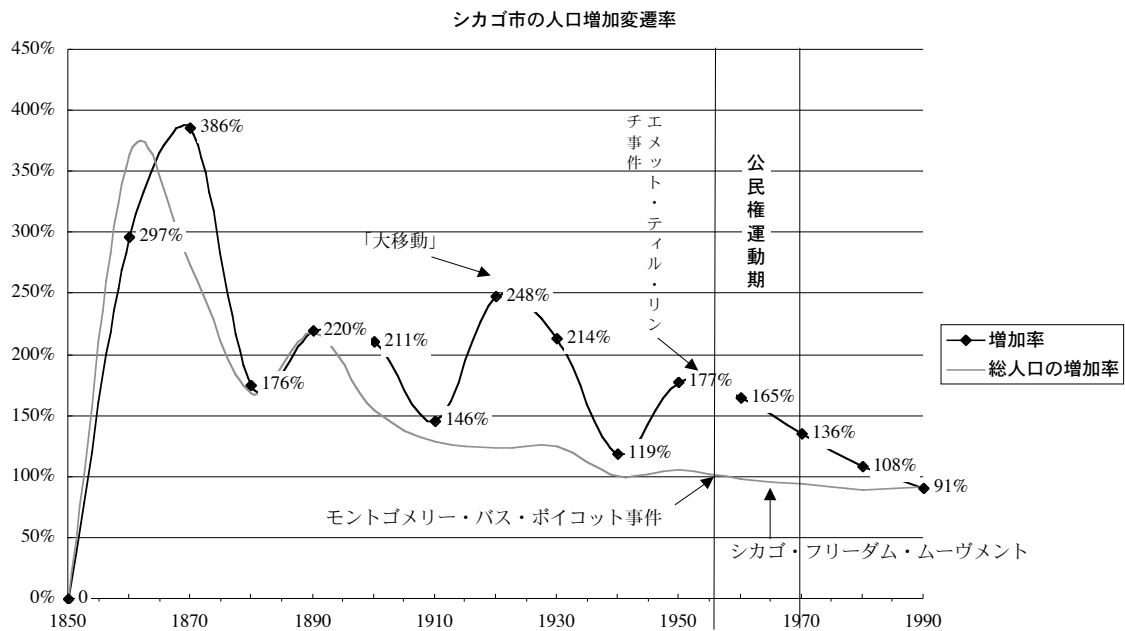
Quoted in Coordinating Council of Community Organizations, "Civil Rights '63" in CULP, Box 179, File 8.

【1.3】WBBM-TV News

教育委員会と委員長は、実質上ニグロの全員と多くの白人たちから、不信任の票をつきつけられている。このデモは、郊外の住宅を求めた中流階層のものであれば、レストランで食事をする権利を求めるものではなかった。これは、すべての社会階層を含んだ人々からなる運動だった。

Standpoint Editorials, November 6, 1963, in CULP, Box 179, File 5.

【1.4】シカゴの人口増加率の変遷



【1.5】 南部キリスト教指導者会議(SCLC)

アラバマ、ミシシッピ、テネシーでの虐待から逃れようとした数千人のものにとって、シカゴとは「約束の地」だった。しかし、今、1966年の時点で、このサイクルはほとんど反対になろうとしている。工場は南部へ移転し、南部では機会も仕事も増加しており、近年の公民権法によって、残忍な人種隔離は急速に崩壊しようとしている。

“A Proposal by the Southern Christian Leadership Conference for the Development of a Nonviolent Action Movement for the Greater Chicago Area,” in eds. Clayborne Carson, et. al, *The Eyes on the Prize, Civil Rights Reader: Documents, Speeches, and Firsthand Accounts from the Black Freedom Struggle, 1954-1990* (New York: Penguin, 1991), p.291.

【2.1】 ジェシー・ジャクソン

デイレーの側近の中には、南部でキング博士とともに行進をした牧師たちや、市の行政官もいました。しかし、事がデイレー自身のプランテーションのことになると、この牧師たちや市の行政官が記者会見を開き、ここはキング博士がくるようなところではないと言い、彼にシカゴを出るように迫ったのです。このことは彼を深く傷つけました。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.301.

【2.2】 SCLC

シカゴでは、様々な力と世論がある問題に結集されていくのを妨害するためだけに、多くの問題に関して名ばかりの融和策が準備されている可能性に、我々は直面するであろう。それ故、我々は、如何なる問題に対しても、我々の持てる力すべてを結集しなくてはならないのである。

“A Proposal by the Southern Christian Leadership Conference for the Development of a Nonviolent Action Movement for the Greater Chicago Area,” pp.296-297.

【2.3】 エド・マーシニアック（シカゴ人種関係委員会委員長）

フリーダム・ムーヴメントは、彼ら自身の要求項目に対して、市長に「ノー」と言わせるつもりでした。彼らが（市長との会談の後に）部屋の中から出てきて、報道陣に会ったとき、フリーダム・ムーヴメントは、何ら得るものはなかったと言いました。ええ、それは本当でしょう。しかし、この会合は特定の要求事項を論じあう場ではなかったのので、彼らは、何も得るものがなかったのです。そうしようと思えば、特定の要求事項を論題にすることはできたでしょうが、彼らがそうしなかったのです。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.307.

【2.4】 ロバート・ルーカス(Chicago CORE)

暴動抑止策を討議している会合で、ある著名な公民権運動指導者が立ち上がりこう言ったんだ。「とどのつまり、あなた方に忘れないでもらいたいことは、若い黒人たちが消火栓から出る水で暑気を払おうとしたことが原因で、暴動が起きたということです。つまり、彼ら・彼女らには水泳プールが明らかに必要なのです。」もちろん、このような要求を聞いて、権力構造は喜んだよ、なぜなら、権力側は何も失うものがないからさ。事実、彼らは可動式水泳プールをこの都市の多くの黒人地区に設置することに同意したんだ。私が考える限り、公民権運動指導層は、こんなものよりももっと多くの譲歩を得るべきだった。しかし、暴動が起きるといった状況に初めて直面して、彼ら・彼女らは何を要求すればいいのか、実のところ分からなかったんだ。それで彼ら・彼女らは水泳プールを要求し、水泳プールを得て、討議は終わってしまったんだ。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.310.

【2.5】 居住区の人種別割合とアメリカの地域による差

Neighborhood Type	Estimated Number of:			Percent of Total Neighborhood	Percent of Total Households
	Neighborhood	Households			
Ten Largest SMSA					
Total Integrated	1,948	3,578,920		16.79%	23.88%
Open		693	1,514,400	5.97%	10.10%
Moderately Integrated		597	1,355,080	5.15%	9.04%
Substantially Integrated		658	709,440	5.67%	4.73%
Total Segregated	9,652	11,409,080		83.21%	76.12%
Total	11,600	14,988,000		100.00%	100.00%
New York SMSA					
Total Integrated	857	1,638,840		29.49%	43.74%
Open		485	962,000	16.69%	25.67%
Moderately Integrated		208	549,640	7.16%	14.67%
Substantially Integrated		164	127,200	5.64%	3.39%
Total Segregated	2,049	2,108,160		70.51%	56.26%
Total	2,906	3,747,000		100.00%	100.00%
Chicago SMSA					
Total Integrated	136	347,200		8.45%	1.91%
Open		42	188,400	2.61%	1.04%
Moderately Integrated		15	64,000	0.93%	0.35%
Substantially Integrated		79	94,800	4.91%	0.52%
Total Segregated	1,474	17,828,800		91.55%	98.09%
Total	1,610	18,176,000		100.00%	100.00%
South					
Total Integrated	1,242	986,720		10.64%	5.75%
Open		42	120,000	0.36%	0.70%
Moderately Integrated		220	141,600	1.88%	0.82%
Substantially Integrated		980	725,120	8.39%	4.22%
Total Segregated	10,435	16,183,280		89.36%	94.25%
Total	11,677	17,170,000		100.00%	100.00%

Note:

Open: those with two or more Negro households, but less than 1%

Moderately Integrated: those with 1 to 10% Negro households

Substantially Integrated: those with more than 10% Negro households

eds., Norman M. Bradburn, Seymour Sudman and Galen L. Gokel, *Racial Integration in American Neighborhoods: A Comparative Survey* (Chicago: National Opinion Research Center, 1970), pp.67-68.

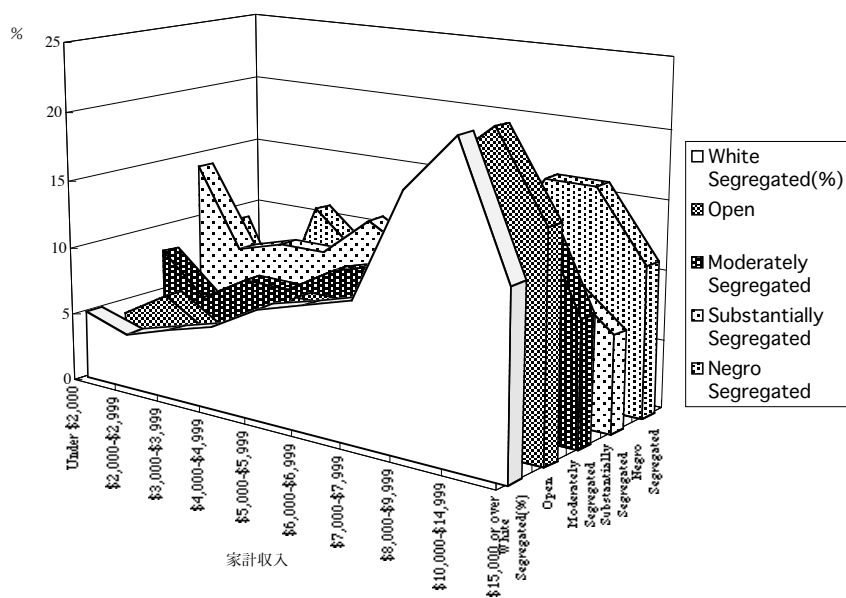
【2.6.1】 居住地区のタイプと所得分布

Household Income	Neighborhood Type				
	White Segregated(%)	Open	Moderately Segregated	Substantially Segregated	Negro Segregated
Under \$2,000	5	4	8	14	9
\$2,000-\$2,999	4	6	5	8	2
\$3,000-\$3,999	5	4	7	9	11
\$4,000-\$4,999	6	4	7	9	8
\$5,000-\$5,999	8	8	9	12	10
\$6,000-\$6,999	9	8	10	10	7
\$7,000-\$7,999	10	9	9	12	10
\$8,000-\$9,999	18	19	19	9	16
\$10,000-\$14,999	22	22	17	10	16
\$15,000 or over	13	16	9	7	11
Median Income	\$8,400	\$8,600	\$7,500	\$5,800	\$7,300

eds., Bradburn, et. al., *Racial Integration in American Neighborhoods*, pp.123-124

【2.6.2】 居住地区のタイプと所得分布グラフ

家計収入と住宅環境



【2.7】 所得別に見る黒人転入に対する白人の反応

Community Reaction	Median Income		
	Less than \$6,000(%)	\$6000-\$6999(%)	\$7,000 or More(%)
Panic	12	19	9
Violence	5	0	2
Churches were hostile or split	20	4	5
Community organization were hostile or split	4	10	4
Brokers encouraged whites to leave	20	6	13
Community organizations tried to keep Negroes Out	11	5	3

eds., Bradburn, *et. al.*, *Racial Integration in American Neighborhoods*, p.108.

【2.8】 白人コミュニティの反応と黒人集住地区との距離

Community Reaction	Distance to Nearest Negro Segregated Neighborhoods (miles)			
	6 and over(%)	2-5(%)	1(%)	0(%)
Panic	8	7	20	20
Violence	0	2	3	4
Church were hostile or split	0	2	10	27
Community Organization were hostile or split	5	9	3	9
Brokers encouraged whites to leave	14	4	17	26
Community Organization tried to keep Negroes out	0	4	9	5

eds., Bradburn, *et. al.*, *Racial Integration in American Neighborhoods*, p.99.

【2.9】 アンドリュー・ヤング

おそらく、2、3 百人のデモ隊に対して、1 万かそれ以上の暴徒が集まっていた。もちろん、南部でも私たちは暴徒と対峙してきましたが、南部での暴徒は、数百か、75 人、50 人といった程度でした。南部で暴力的に振る舞ったのは、たいていが白人の中でも不良と呼ばれるような人々でした。しかし、シカゴでは、女性、子供、既婚の男女がそれぞれの家から出てきて、暴徒になっていっていました。ある意味では、北部の方が南部よりもずっと恐ろしいところだったのです。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, pp. 312-313.

【2.10】 アンドリュー・ヤング

シカゴは、私たちが運動を行った南部のいかなる都市よりも、とても大きな都市でした。問題を一度に全部解決することはできないことは私たちも知っていました。そして、戦闘的な運動を長く持続させることができないということもわかっていました。それで私たちには運動を締めくくる方途を探そうとしていましたし、問題解決の道を制度化できればと思っていました。私たちはある種の合意や、デイレイ市長からの賛意と反応が欲しかったのです。そして、それを勝ち得ることで、漸進的で長期に及ぶ改革へのコミットメントを引き出そうとしたのです。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.315.

【2.11】 クロイ・ブライアント(公共住宅の住民でアーカンソー出身移住民1世)

住宅局と一緒にサミット会議のテーブルに座ったものたちは、私たちが選んだものたちではありませんでした。シカゴの公共住宅に住んでいるものたち、つまり、住宅問題に感情的にも深く関係を持ち、心配することも多い人たち、シカゴの公共住宅が生活の一部になっている者たちこそが、何が問題なのかを語るべきだった、と私たちは感じたのです。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.316.

【2.12】 リンダ・ブライアント・ホール (COREの活動家で、南部移住民2世)

事実、私はキング博士の方法論を支持している者の一人でした。しかし、キング博士がブラック・パワーはほんの少し抑えた声で主張すべきものであると決めたとき、私たちは、よけいにブラック・パワーに魅力を感じ始めました。何者かが、あまりその言葉を繰り返すなとか、もう少し声を小さくしろとか言うのです。それで、その時、私たちは、そうよ、次のように心に決めたの。ちょっとずつ前進しろとか、もう少し歩調を遅くしろと命令するものがあまりにも多くなって来ているからには、ブラック・パワーの路線こそ私たちが進まなければいけないものなのだってね。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.305.

【2.13】 ロバート・ルーカス

黒人が石を取り上げ、投げ返しているのを見て、私はすかつとした気分になったよ。なぜならば、そのような光景は、全世界に向かって、非暴力は南部では有効だったが、北部では実際上機能しえないということを、はっきりと示していたからだ。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.319.

【2.14】 バーナード・ラファイエット

なぜある地区が全員白人なののかに関しては、いくつかの理由がありましたが、黒人がそれらの地区に住まないという選択をしたからではないのです。それは、黒人たちが、主に不動産業者によって、組織的に「白人地区に」住む権利を否定されていたからなのです。

eds. Hampton and Fayer, *Voices of Freedom*, p.307-308.

【2.15】 現在の居住地に対する“Happiness”指数

Happiness and Reaction To Moving	Neighborhood Type				
	White Segregated	Open	Moderately Integrated	Substantially Integrated	Negro Segregated
White					
<u>Happiness with living in neighborhood</u>					
Very happy	60	59	52	54	51
Pretty happy	33	35	38	33	34
Not too happy	7	6	10	13	15
<u>Reaction to Moving</u>					
Very happy	31	30	29	35	34
A little happy	27	24	27	23	20
Wouldn't make any difference	28	33	28	25	25
Happy to move	14	13	16	17	21
Negro					
<u>Happiness with living in neighborhood</u>					
Very happy	n/a	55	55	44	50
Pretty happy	n/a	41	41	34	34
Not too happy	n/a	4	4	22	16
<u>Reaction to Moving</u>					
Very happy	n/a	33	31	26	35
A little happy	n/a	28	22	22	23
Wouldn't make any difference	n/a	28	41	26	23
Happy to move	n/a	11	6	26	19

eds., Bradburn, et. al., *Racial Integration in American Neighborhoods*, p. 362-363.

【2.16】人種統合された住宅地区での社会交流

Happiness and Reaction To Moving	Neighborhood Type				
	White Segregated	Open	Moderately Integrated	Substantially Integrated	Negro Segregated
White					
<u>Happiness with living in neighborhood</u>					
Very happy	60	59	52	54	51
Pretty happy	33	35	38	33	34
Not too happy	7	6	10	13	15
<u>Reaction to Moving</u>					
Very happy	31	30	29	35	34
A little happy	27	24	27	23	20
Wouldn't make any difference	28	33	28	25	25
Happy to move	14	13	16	17	21
Negro					
<u>Happiness with living in neighborhood</u>					
Very happy	n/a	55	55	44	50
Pretty happy	n/a	41	41	34	34
Not too happy	n/a	4	4	22	16
<u>Reaction to Moving</u>					
Very happy	n/a	33	31	26	35
A little happy	n/a	28	22	22	23
Wouldn't make any difference	n/a	28	41	26	23
Happy to move	n/a	11	6	26	19

eds., Bradburn, et. al., *Racial Integration in American Neighborhoods*, p. 362-363.

【2.17】黒人が初めて近くに引っ越してきた場合、どのように反応するか

Item	Percent of Households
<u>Personal Reaction</u>	
Not Concerned	48
Concerned--Would not move	13
Concerned--Might move	25
Concerned--Would move	14
<u>Perceived community reaction</u>	
Positive	2
None	10
Gossip	46
Panic	21
Minor actions against Negroes	6
Major actions	2
Other actions or don't know	26

eds., Bradburn, et. al., *Racial Integration in American Neighborhoods*, p.453.

【BIBLIOGRAPHY】

Chicago Tribune

Chicago Sun-Times

Chicago Daily News

Chicago American

New York Times

America Friends Service Committee Papers, Special Collection Division,
Richard J. Daley Library, University of Illinois at Chicago

Chicago Urban League Papers, Special Collection Division, Richard J. Daley
Library, University of Illinois at Chicago

Chicago Congress of Racial Equality Papers, Chicago Historical Society.

Martin Luther King Papers, Institute for Nonviolent Social Change, Atlanta, Ga.

Leadership Council for Metropolitan Open Communities Papers, Chicago
Historical Society.

“A Proposal by the Southern Christian Leadership Conference for the
Development of a Nonviolent Action Movement for the Greater Chicago
Area,” in eds. Clayborne Carson, David J. Garrow, Gerald Gill, Vincent
Harding, Darlene Clark Hine, *The Eyes on the Prize, Civil Rights Reader:
Documents, Speeches, and Firsthand Accounts from the Black Freedom Struggle,
1954-1990* (New York: Penguin, 1991).

eds. Henry Hampton and Steve Fayer, *Voices of Freedom: An Oral History of the
Civil Rights Movement from the 1950s through the 1980s* (New York: Bantam,
1990).

Norman M. Bradburn, Seymour Sudman and Galen L. Gockel, *Racial Integration
in American Neighborhoods: A Comparative Survey* (Chicago: National
Opinion Research Center, 1970).

St. Clair Drake and Horace H. Cayton, *Black Metropolis: A Study of Negro Life in a
Northern City* (Chicago: University of Chicago Press, 1945).

Clayborne Carson, *In Struggle: SNCC and the Black Awakening of the 1960s*
(Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1981).

- Harold Cruse, *The Crisis of the Negro Intellectual: A Historical Analysis Of the Failure of Black Leadership* (New York: Quill, 1967).
- Adam Fairclough, *To Redeem the Soul of America: The Southern Christian Leadership Conference and Martin Luther King, Jr.* (Athens, Ga.: University of Georgia Press, 1987).
- Marshall Frady, *Jesse: The Life and Pilgrimage of Jesse Jackson* (New York: Random House, 1996).
- David J. Garrow, *Bearing the Cross: Martin Luther King, Jr., and the Southern Christian Leadership Conference* (New York: Vintage, 1986).
- , *Protest at Selma: Martin Luther King, Jr., and the Voting Rights Act of 1965* (New Haven: Yale University Press, 1978).
- James R. Grossman, *Land of Hope: Chicago, Black Southerners, and the Great Migration* (Chicago: University of Chicago Press, 1989).
- David Harvey, *The Conditions of Postmodernity: An Inquiry into the Origins of Cultural Change* (Cambridge, MA: Blackwell, 1990).
- Arnold R. Hirsch, "Massive Resistance in the Urban North: Trumbull Park, Chicago, 1953-1966," *Journal of American History* 82 (September, 1995): 522-550.
- , *Making of the Second Ghetto: Race & Housing in Chicago 1940-1960* (New York: Cambridge University Press, 1983).
- David M. Katzman, *Before the Ghetto: Black Detroit in the Nineteenth Century* (Urbana: University of Illinois Press, 1973).
- Robin D.G. Kelley, *Race Rebels: Culture, Politics, and the Black Working Class* (New York: Free Press, 1994).
- Michael J. Klarman, "How *Brown* Changed Race Relations: The Backlash Thesis," *Journal of American History* 81 (June, 1994): 81-118.
- David L. Lewis, *King: A Biography* (Urbana: University of Illinois Press, 1970).
- Stephen B. Oates, *Let the Trumpet Sound: A Life of Martin Luther King, Jr.* (New York: Harper, 1982).
- Len O'Connor, *Clout: Mayor Daley and His City* (New York: Avon, 1975).
- James R. Ralph, Jr., *Northern Protest: Martin Luther King, Jr., Chicago and the Civil Rights Movement* (Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1993).
- Mike Royko, *Boss: Richard J. Daley of Chicago* (New York: E. P Dutton, 1971).

Bayard Rustin, "From Protest to Politics: the Future of the Civil Rights Movement," *Commentary* 39 (February, 1965): 25-31.

Saskia Sassen, *Cities in a World Economy* (London: Pine Forge Press, 1994).

Thomas J. Sugrue, "Crabgrass-Roots Politics: Race, Rights and the Reaction against Liberalism in the Urban North, 1940-1964," *Journal of American History* 82 (September, 1995): 551-578.

William Julius Wilson, *The Truly Disadvantaged: The Inner City, the Underclass, and Public Policy* (Chicago: University of Chicago Press, 1987).

竹中興慈, 『シカゴ黒人ゲトー成立の社会史』 (明石書店 1995 年).